

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3390900078		
法人名	社会福祉法人 生き生き館巨瀬		
事業所名	グループホーム ケアポート生き生き館巨瀬		
所在地	岡山県高梁市巨瀬町5540-1		
自己評価作成日	平成31年1月30日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利法人 津高生活支援センター		
所在地	岡山市北区松尾209-1		
訪問調査日	平成31年2月20日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

『こころの通うひとづくり』の理念を基に、利用者様個人を尊重した介護を目指しています。介護する側の都合ではなく、利用者様にとっての最善を考えています。また日常的には体調管理をさせていただき、異常がある時にはご家族や主治医、医療機関と連携を取り速やかに対応しています。  
地域の小学校や幼稚園と交流を行い、当館の行事の際には地元の方がボランティアとして参加くださったりと、地域密着型の施設として認められてきたかとありがたく思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

開所以来、地域に密着したホームを目指し、日々入居者の笑顔がこぼれる暮らしの継続を願い支援に努めています。昨年7月の豪雨の際には物資の供給に協力してくれる等、地域との関わりも広がってきています。  
また、地域での困りごとの相談を受けたり、幼稚園・小学校の福祉の勉強の協力依頼もあり、地域に必要な不可欠な存在になってきていることが窺えます。背景にホームの安定があり、職員の定着が地域密着型グループホームとして地域貢献にもつながっている様子が窺えます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「心の通う人づくり」の理念を職員全員で共有し、利用者様の個人を重視したケアを行っています。	理念を実践に繋げるために「自分の親に接するのと同じように」また「自分がどうしてもらうのがうれしいのか」を考えて、入居者と関わる視点を持つ様にしています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の小学校を訪問して福祉車両や車椅子体験を行ったり、当館に小学生が来て利用者との交流会を行っています。また、地域の行事に参加したり当館の行事に地域の方にボランティアとして参加いただいています。	地域の方や子供たちとの交流で、普段とは違った姿や会話を垣間見ることが出来、入居者の生活の広がりにつながっています。また地域の子供とふれあった記憶は比較的覚えている事が多く、楽しい思い出が増えています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	今年度から認知症カフェはお休みさせていただいていますが、地域の方々との交流を通じて認知症への理解をいただいています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で出た意見等は朝礼や職員会議にて速やかに職員に伝え、サービス向上に活かせるよう努めています。	現在は平日の夕方に開催しており参加者が少ないのが現状です。新年度からは日中に開催し、地域の役職者だけでなく、それ以外のだれもが参加しやすいテーマで多くの方が参加できるような会を目指しています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議に高梁市の介護保険課から出席いただいております。施設の実情を理解いただいております。また、わからないことは電話や市役所にて質問に応じていただいております。	行政のセミナーに協力したり、また申請書類等、不明な箇所は適宜教えてもらいながら連携と協力関係を築くよう取り組んでいます。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関や通用口は施錠させていただいているが、居室やユニットは施錠せず自由に移動していただいております。	入居者の不穏な行動があった場合などは理由を考え、行動の原因を解決する様に心掛けています。入居者の安全の為、玄関などは施錠していますが、職員都合で支援するのではなく、抑圧感のない暮らしの支援に努めています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会があり研修を行い、職員全員が虐待に対する理解を深め、虐待が起こらないよう意識を高めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	内外の研修に参加して権利擁護について学び、得た情報を職員が活用できるよう支援しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時や退去時、その他必要時に利用者様やご家族様に不明な点等を尋ね、理解いただけるよう説明を行っています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や計画作成時、来館時にご意見をいただいています。意見を言いやすい雰囲気作りを努めています。	家族からの意見、要望はまず、管理者又は主任に伝え職員で話し合ったり、即答の難しい案件は法人に相談して出来るだけその日の内に返答するようにしています。また職員からコミュニケーションをとり、話し易い場づくりに努めています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の職場会において運営に関しての意見を出し合い、運営に反映させています。	新しく職員を採用する際は管理者だけで決めず、現場のリーダーに相談してから決めていきます。また今後の方針は職員全員に相談して決める様に進めています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に二回、職員の勤務状況や実績を評価し、給与や賞与のアップを含め各自がやりがいが持てるよう条件を検討しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員には、いつまでも向上心を持ってもらうために内外の研修への参加を促しています。外部研修については勤務扱いや交通費の負担等考慮しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者や介護支援専門員は市内の同業者と交流出来ていますが、一般職員については、集まりが夜間にあることが多くなかなか参加が出来ておりません。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用前の状況把握の時から、ご本人が困っていることや不安な気持ちを聞き出して安心していただけるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の要望や不安についても状況把握の時点から聞き取りをして、関係作りに努めています。。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族にとっての一番必要な事を重視して相談や助言を行っています。当館利用に限らず他のサービスについての説明も行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	単に介護する・される関係ではなく、人として対等な関係を保てるよう努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族と共にご本人を支えていくことを目標とし、また、ご本人とご家族が良い関係を保てるよう配慮しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	旧知の方からの手紙や来館は取り次いでおり、その方との関係が継続するように心がけています。馴染みの場所についてはご家族の対応をお願いしています。	地域の知り合いの方が訪ねてきて昔話で大いに盛り上がり入居者の知らなかった人柄が垣間見えたり、また写真や手紙を見ながら昔の思い出を伺がったりしながら、馴染みの関係が途切れない様支援に努めています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	常に利用者様同士の関係を注意して見ており、フロアでの座る位置などに考慮しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後もご本人やご家族のフォローはもちろん、現在担当の事業所や病院等とも連携を取り支援を行っています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中でご本人やご家族の意向を汲み取り、ご本人の希望を全職員が把握・検討する場を設けています。	入居者と共に暮らす日々の中で一人ひとりの思いや意向を把握しながら、その人に合わせた支援に努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始前の状況把握にてご本人やご家族から聞き取りを行い、全職員が共有出来るよう会議を行っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の様子については注意して観察し、朝夕の申し送りの際に伝えていきます。また、必要に応じてカンファレンスを行っています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族が今必要としていることを聞き取り、担当者会議にて話し合いを行い介護計画を作っています。	家族の意向と入居者の状態変化等、介護計画に盛り込み現場での実践に結びつくように、個別援助計画書を作成し、現状に即した支援を心掛けています。	目標を日々意識し、介護記録が計画に反映できるような記録の工夫や記録業務の簡素化に期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者様の行動や言葉、職員の行動を記録しています。介護計画が現状と違ってきている場合にはカンファレンスを行い見直しを行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	グループホームでのサービスに限りもありませんが、ご本人やご家族にとって最善の対応を考えています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事や展覧会等に参加して地元の方達と交流しています。日常とは違う時間を過ごして豊かな気持ちになっていただけるよう努めています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用前にかかりつけ医の相談をさせていただいています。また、入居後はご家族や医療機関と連携を取り適切な医療を受けられるよう支援しています。	定期的な受診は職員が同行していますが、家族が同行する際は入居者の日々の状態を書面にて提供し、適切な医療を受けられるように支援しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者様の様子は常に看護師に伝えており、必要に応じて受診をしたりして主治医と連携を取っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	日頃から病院のケースワーカーとは情報交換を行っており、状況把握に行き利用者様が早く退院出来るよう共に支援を行っています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期のあり方等については契約時から意向を聞くようにしており、希望に沿うよう援助しています。	現在は看取りは行っておらず、入居者と家族にその旨入居時に説明しています。食事が口から摂れる間はケアを行うことを家族にも説明し、職員全員が共有しています。緊急時は協力病院に入院出来るよう連携をとって支援に努めています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時の対応について研修を行っています。また、救急者を呼ぶ時の手順書を電話の近くに配置し、慌てずに対応出来るようにしています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に二回防災訓練を行い災害時に安全に避難誘導行えるよう確認をしています。	防災訓練は地域と事業所と別々に行っています。昨年の豪雨の際、近所の方が断水したため水を分けてくれたり配給された物資を分けてくれるなど地域との協力体制が築かれている事が窺えます。	運営推進会議に多くの地域の方に参加してもらい、地域の防災について行政とも話し合いながら、課題解決に繋がって行くことを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇の研修を通じて、利用者様のこれまでの人生や考えを尊重したケアを行うよう職員がお互いに注意し合うようにしていますが、十分とは言えない状況です。	業務が立て込んだり職員の都合で言葉使いが不適切になることがあります。その都度、その場で注意する様心掛けています。また職員はその場の優先順位を考慮し、一呼吸してから落ち着いて行動する様努めています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	集団生活なので限界がありますが、その中でご本人が自己表現や自己決定出来るように働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	施設内のスケジュールはある程度決まっていますが、利用者様のその日の体調を見て出来る範囲で希望に応じるようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人に合った装いが出来るよう支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	配膳はスタッフが行っていますが、利用者様には食事前にテーブルを拭いていただいたり、食器の片付けを手伝っていただいています。	陽気のいい日は外にテーブルを出しお出かけ気分になって談笑したり、献立の説明から話が弾むこともあったり、食事が楽しい場になる様努めています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事量や水分量、体重などは記録に残し、変化には早急に対応出来るように看護師や医師と連携を取っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアについては個人差があるので、利用者様ごとに声かけやケアを行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	足取りが不安定な方は夜間オシメにさせていただくことがありますが、昼間は誘導にてトイレで排泄していただいています。失禁された時には自尊心に配慮した言葉かけをしています。	排泄の状態を観察して職員で話し合って排泄方法を検討し、その排泄方法が適切かをモニタリングで話し合い、一人ひとりに合った自立支援に努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の場合は水分量や運動量に注意していますが、さらに重症化がみられるときには看護師や主治医と相談しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	夏は週三回、冬は週二回で基本の曜日を決めていますが、ご本人の体調や希望を聞いて臨機応変に行っています。	入浴日を一応決めていますが、入居者の希望に合わせて対応しています。また入浴拒否の入居者にはその要因をアセスメントし、解決できる様に努め気持ちよく入浴してもらえる様支援しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自室はもちろんですが、共有スペースの和室コーナーやソファなどで休んでいただいています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬手帳や説明書で薬の確認を行い、その方の病状等を理解した上で服薬の支援を行っています。また、服薬後の観察も怠らないようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人にとっての楽しみや生きがいを尊重して、生き生きとした生活が送れるよう支援しています。また、小さな事でも何か役割を果たしていただくことが張り合いになると思います。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	生き活き館周辺の散歩はいつでも出来るよう支援しています。外食やお花見等の行事はユニット単位で考えています。個人的な外出先についてはご家族様にお願いしています。	日々の散歩の時や季節ごとの外出の他、受診の際に少し足を延ばしてドライブに出かけたり、家族と外食に出かけるなど出来るだけ出掛けられるように支援しています。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ひと月1000円をお小遣いとして預かり、近隣の商店が移動販売をして下さった時に自分で財布から支払いいただいています。(近隣の商店が移動販売を止めたため次の商店を模索中です)		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけたいと希望があればこちらでダイヤルして電話をお渡ししています。手紙やはがきについても同様に手助けをしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用のスペースの明るさや音、温湿度等には注意をしています。また、壁面には利用者様が作られた貼り絵や行事の写真などを飾り季節感を出すようにしています。	入居者が落ち着いて過ごせるように、時間がゆっくりと流れていく場づくりのための工夫の一つに、不用意に走ったり、パタパタと音を立てたりしない様に配慮しながら入居者と一緒に時を過ごす様心掛けています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	畳のスペースやソファなど気軽に使える場所があります。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人やご家族と相談の上、普段から使っていた家具や食器類を持参いただいています。	ベッドで就寝して貰っていますが畳での就寝を希望される方には畳の持ち込みも可能で、大きな危険がない限り、特に持ち込みの規制なく安心して過ごせる様支援しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様の残存能力を活かせるような環境作りをしています。手を出しすぎずご本人の自立を促します。		